

- 主体的に学び、確かな資質・能力を身に付けた児童
- 他者と協働し、より良い生き方を考えられる児童
- 心身が健康で、ねばり強く努力できる児童
- 地域・社会に学び、参画できる児童

冬休みを迎えます

夏休み明けの8月から12月までの長い期間が終わり、冬休みを迎えることとなりました。この期間は1年の中で子どもたちが一番成長する時期です。この間、学校の教育活動へのご協力たいへんありがとうございました。また、毎日子育て本当にお疲れ様です。

鴛小の子どもたちも、

- 漢字を多く書けるようになる。
- すらすらと教科書を読めるようになる。
- 教科書に書いてあることから自分なりの意見をまとめることができるようになる。
- 数の仕組みを覚える。
- 色々な計算をできるようになる。
- どうしてそのような結果になるのか、やり方や式の立て方を考えられるようになる。
- 自分の意見を堂々と言えるようになる。
- 友達に気遣いができるようになる。
- 困っている人に声をかけられるようになる。
- あいさつを自分から相手にわかる声で言えるようになる。
- 自分のことは自分でできるようになる。
- 自分で生活を律し、ゲームやインターネット・YouTubeなどの時間を減らし、家庭学習時間の確保と、睡眠時間の確保ができるようになる。
- 朝・昼・晩、三食のごはんを残さず食べられるようになる。
- ねばり強く毎日登校し、学校生活や集団生活をやりきることができる。 等など、



その子なりの成長があった時期になったことと思います。学校で見ている「自信をもって発表できるようになった。」「優しく関わり合っている場面が増えた。」「授業に集中して自分で考える・友達と考え合っている場面が増えた。」等たくさんの成長が見えてきています。

上記のことを「できないことがあるので指導する。」と考えるか、「1つでもできるようになったからほめる。」と考えるかで子どもの成長に対する意欲も変わってきます。ぜひ、冬休みに向かうこの時期、「できたことを（見つけ）ほめる」ことを中心に伝え、次へのステップへの助走期間として、冬休みを使っていただきたいと思います。

- 規則正しく生活し、3食しっかり食べ、ゲーム・インターネット・YouTubeは1時間以内に抑える。
- 毎日学習に取り組む。
- 何か1つ家庭の仕事を与える。
- 1日1回は体を動かす。
- 家族で楽しい思い出を作る。 等など

残念ながら最後の日が臨時休校となり、配布物も25日(月)となってしまいましたが、機会をとらえて保護者の方の感じている子どもたちの成長とこれからのがんばりを伝えて下さるとありがたいと思います。

「子どもたちをほめる。」ためには、「ほめる機会を増やす。」ことです。そのためのアイデアをご家庭でも考えながら、やらせてみる・取り組ませる→やったことやできるようになったことをほめる→次に取り組むことを考えさせる。そんな良い循環を少しずつ増やしていきましょう！

利尻富士町

交通安全標語コンクール

□高学年の部 最優秀賞

・6年 大藪 優月 さん

「命より 大切ですか そのメール」

■低学年の部 優秀賞

・1年 長岡 佳裕 さん

「とうげこう ふざけてあるく
やめようね」

■高学年の部 優秀賞

・6年 村谷 翔基 さん

「失うと 奪うは常に 紙一重」



1日(月)
元日
学校閉庁日(～8日)

8日(月)
成人の日

11日(木)
町冬休み子ども体験
教室①

12日(金) 町冬休み子ども体験教室②

18日(木) 学校開始
冬休み明け全校集会
体罰調査×切

19日(金) 冬休み図書返却最終日
1・2年2計測 英検③

22日(月) 活動委員会(3年生見学)
3・4年2計測

23日(火) 3・4年スキー
5・6年2計測

25日(木) 5・6年スキー

26日(金) 新入生体験入学
新入生保護者入学説明会
6年鷺中体験授業

29日(月) 全校朝会 クラブ



←鷺泊小HP QRコード

URL:<https://rishirifujitown-oshidomari-elementary-school.edumap.jp>

学習発表会アンケートへのご協力ありがとうございました

- ・日頃培ってきた学習成果をもとにする。
- ・子どもたちの自分から取り組む力を伸ばす。
- ・自分達でアイデアを考えていく意欲を伸ばす。

上記のことをねらいに、学芸会ではなく、学習発表会として行いました。

日頃の学習成果を基にした発表ということについて、保護者の皆様におおむねご理解いただきたいへんありがとうございました。今年度の学習発表会をもとに工夫改善し、学習成果をもとにした児童の主体的・創造的な活動をより進めていきたいと考えております。

「撮影優先場所があって良かった」「全部の家庭が一緒に見ることができ、色々な学年の発表を見ることができて良かった」「各学年の独自性がありバラエティにあふれる発表だった」等のご意見もいただいております。来年度の取組にも生かしていきます。

お忙しい中にもかかわらず、たくさんの貴重なご意見を書いていただき大変ありがとうございました。